

PANDUIT®

取扱説明書



ラベルプリンター

DP4300H / DP4600H

MADE IN GERMANY

シリーズ	型式
DP	DP4300H
	DP4600H
	DP4300H/E
	DP4600H/E

発行日: 2024年06月 - 製品番号 DP4X00H-MAN-JA

著作権について

本書および本書翻訳内容の所有権は、Panduit Corporationに帰属します。

本来の使用目的以外での本書の一部または全部を複製、改変、転載・転用、配布する場合は、Panduit Corporationの書面による事前の承諾が必要です。

商標

Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

これに関する詳細は、www.panduit.comでご覧いただけます。

編集内容

ご質問およびご意見は、Panduit Corporationにご連絡ください。

記載内容の更新について

本機器は継続的に技術開発が行われているため、本書に言及されている内容と機器で相違が生じる場合があります。

最新の記載内容については、www.panduit.comを参照ください。

取引条件

納品およびサービス提供は、Panduit Corporationの一般販売条件に従って行われます。

Panduitサービス窓口の連絡先

米国&カナダ

電話 1-866-871-4571

Eメール GA-Techsupport@panduit.com

アジア太平洋地域

電話 65-6305-7575

Eメール TechSupportAP@panduit.com

ラテンアメリカ

電話 1-708-532-1800

Eメール TechSupportLatAm@panduit.com

日本

電話 81-3-6863-6060

Eメール TechSupportAP@panduit.com

ヨーロッパ/中東

電話 +31 -546-580-452

Eメール TechSupportEMEA@panduit.com

オーストラリア

電話 613-9794-9020

Eメール TechSupportAP@panduit.com

1	序文	4
1.1	注意事項.....	4
1.2	適切な使用.....	4
1.3	安全に関する注意事項.....	5
1.4	環境.....	5
2	インストール	6
2.1	機器の概要.....	6
2.2	機器の開梱および設置.....	8
2.3	WLANスティックを挿入する - オプション.....	8
2.4	機器の接続.....	9
2.4.1	電源に接続する.....	9
2.4.2	コンピューターまたはコンピューターネットワークに接続する.....	9
2.5	機器のスイッチをオンにする.....	9
3	タッチスクリーンディスプレイ	10
3.1	スタート画面.....	10
3.2	メニュー内のナビゲーション.....	12
4	材料を挿入する	13
4.1	ロール材料を挿入する.....	13
4.1.1	材料ロールをロールホルダーに位置決めする.....	13
4.1.2	プリントヘッドにラベルを挿入する.....	14
4.1.3	ラベルエッジセンサーを調整する.....	14
4.2	ヘッド加圧システムを調整する.....	15
4.3	転写フィルムを挿入する.....	16
4.4	転写フィルムフィードを調整する.....	17
5	印刷モード	18
5.1	用紙フィードの同期.....	18
5.2	切り取り.....	18
5.3	カットおよびパンチング.....	18
6	清掃	19
6.1	清掃に関する注記.....	19
6.2	プリントヘッドを清掃する.....	19
6.3	ラベルエッジセンサーを清掃する.....	20
7	エラー処理	21
7.1	エラー表示.....	21
7.2	エラーメッセージとトラブルシューティング.....	21
7.3	問題解決法.....	23
8	許認可	24
9	索引	25

1.1 注意事項

本書では、重要な情報および注記には以下のマークが付けられています：

**危険！**

危険な電圧による健康または生命に差し迫った重大な危険が生じることについての警告を示しています。

**危険！**

回避しなかった場合、死亡や重傷を招く非常に危険を伴う状態についての注意を示しています。

**警告！**

回避しなかった場合、死亡や重傷を招く中程度の危険を伴う状態が生じる可能性があることについての注意を示しています。

**注意！**

回避しなかった場合、中程度または軽度の負傷を招く僅かな危険を伴う状態が生じる可能性があることについての注意を示しています。

**注意！**

物的損傷または品質低下を招く可能性があることについての注意を示しています。

**注記！**

簡単な作業手順についてのアドバイス、または重要な作業手順についての注意事項を示します。

**環境！**

環境保護に関するヒントを示しています。



手順の指示。



章、位置、図番号、文書の参照。



オプション (付属品、周辺機器、特別装備)。

時間

ディスプレイの表示。

1.2 適切な使用

- 本機は、最新技術を採用し、適用される安全規則に従って製造されています。しかしながら使用するに当たり、ユーザーまたは第三者の身体や生命に危険を及ぼしたり、機器やその他の物品に損傷を招く場合があります。
- 本機は、技術的に正常な状態で、使用目的に即し、安全かつ潜在的危険を認識して、本取扱説明書の記載内容を順守して使用しなければなりません。
- 本機は、印刷に適した材料のみを使用することが規定されています。これ以外のその他の使用目的は規定に即していないものとみなされます。誤使用により生じた損傷については、メーカー/販売会社は一切の責任を負わず、ユーザー自身が責任を負うものとします。
- 使用目的には、取扱説明書の遵守も含まれます。

1.3 安全に関する注意事項

- 本機は、定格電圧100 V～240 Vの交流電源用に設計されています。本機器は、必ず保護接地端子を備えたコンセントに接続してください。
- 本機器は、安全特別低電圧のかかった機器とのみ接続してください。
- 接続を確立する前、および接続を外す前に、当該のすべての機器(コンピューター、プリンター、付属機器)のスイッチをオフにしてください。
- 本機は、子供が近くにいる環境で使用するものではありません。
- 本機器は、乾燥した環境でのみ作動させ、湿気(水の飛散、蒸気など)にさらさないでください。
- 本機器は、爆発の可能性がある雰囲気で使用しないでください。
- また、高電圧線付近では使用しないでください。
- カバーを開いた状態で本機器を作動させる場合、衣服、頭髮、アクセサリーなどが露出している回転部品に接触しないように注意してください。
- 機器や部品は、印刷中に高温になる場合があります。作動中は機器に触れず、材料交換および取外し作業は、冷ましてから行ってください。
- カバーを閉じる際に挟まれる危険。カバーを閉じる際は外側のみを持ち、カバーの移動領域を掴まないでください。
- 本取扱説明書に記載されている取扱方法のみを実施してください。
その他の作業については、トレーニングを受けた作業員またはサービスエンジニアのみが実施します。
- 電子コンポーネントおよびこれらのソフトウェアに不適切な介入を行うと、障害を招く場合があります。
- また機器に不適切な作業や変更を行うと、運転安全性を損なう場合があります。
- サービス作業は、必ず作業に必要となる専門知識および工具を有する、正規の作業工場に依頼してください。
- 本機器には、危険に関して注意を促すさまざまな警告ラベルが貼付されています。
危険が認識されなくなるため、これらの警告ラベルは取り外さないでください。
- 最大騒音レベルは70 dB(A)以下です。

**危険！**

電源電圧による生命の危険。

- ▶ 機器のハウジングを開かないでください。

**警告！**

本機器は、クラスAに分類されています。この装置は、住居領域において電波障害を引き起こす場合があります。この場合、事業者適切な対策を講じるよう要請してください。

1.4 環境



使用済みの機器には、再利用に回収するべきリサイクルが可能な貴重な材料が含まれています。

- ▶ 一般廃棄物と分類し、適切な収集所へ廃棄してください。

本プリンターはモジュラー構造であるため、構成部品は分解することができます。

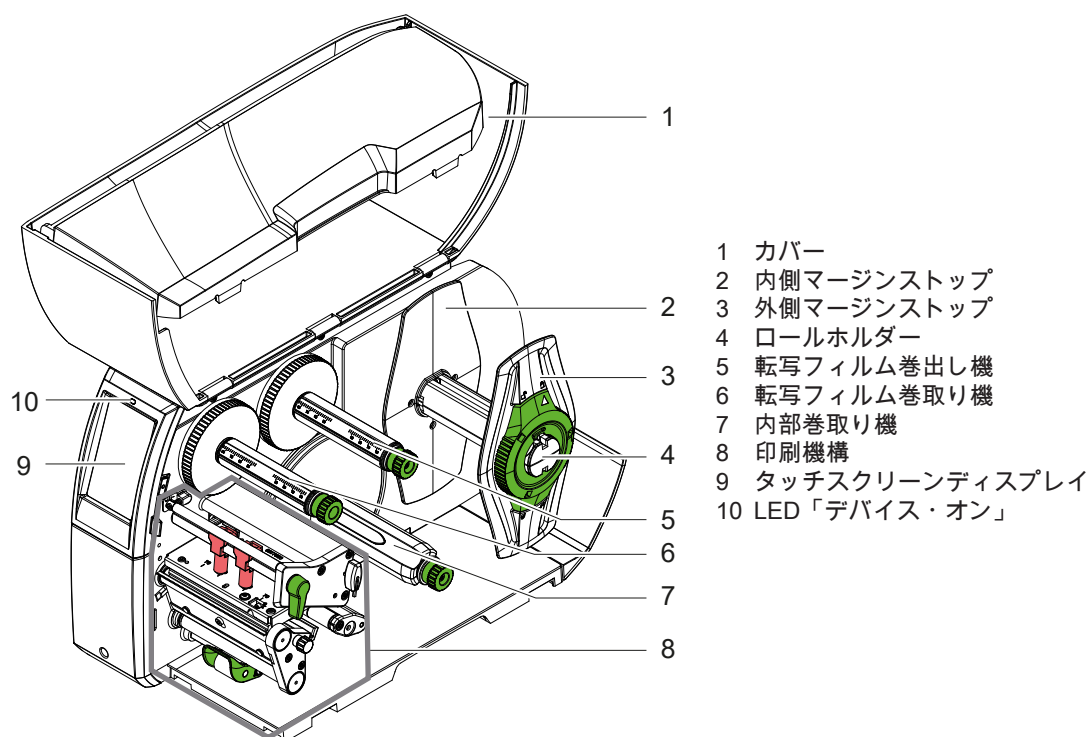
- ▶ 部品はリサイクルしてください。



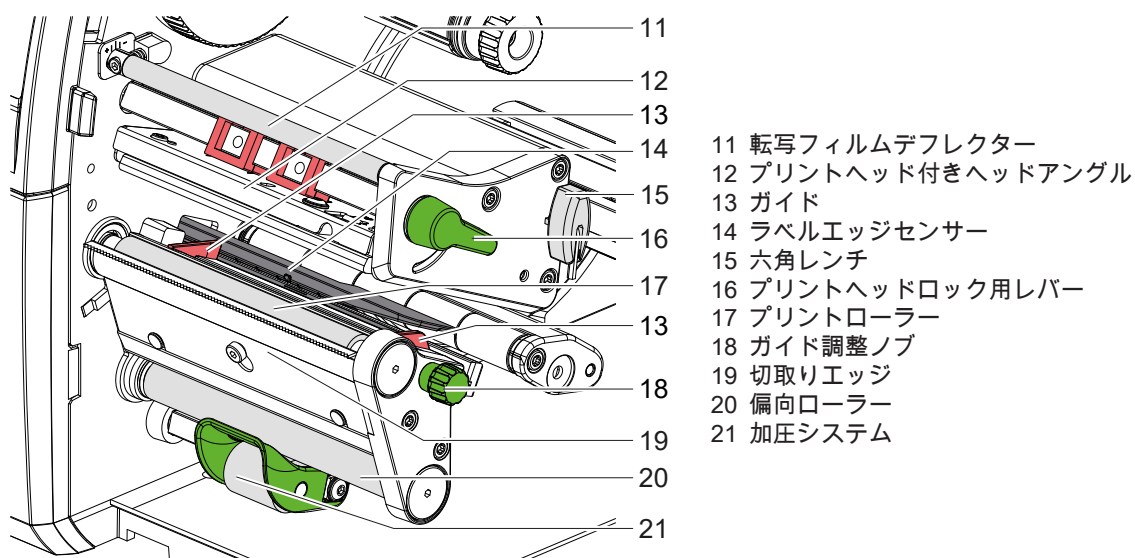
機器の電子基板には、リチウムバッテリーが装備されています。

- ▶ このため、これらは販売店の使用済みバッテリー回収ボックスまたは公共の廃棄物回収所へ引き渡してください。

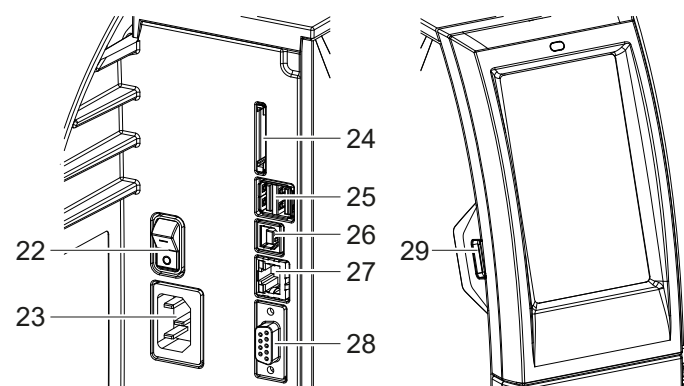
2.1 機器の概要



画像1 概要



画像2 印刷機構



画像3 各接続端子

- 22 電源スイッチ
- 23 電源コネクタ
- 24 SDカード挿入スロット
- 25 キーボード、スキャナー、
USBメモリーデバイス、またはサービスキ
ー用USB-Aインターフェース2個
- 26 USB-Bインターフェース
- 27 イーサネット 10/100 Base-T
- 28 RS-232インターフェース
- 29 キーボード、スキャナー、USBメモリーデ
バイス、またはサービスキー用USB-Aイン
ターフェース

2.2 機器の開梱および設置

- ▶ ラベルプリンターを梱包箱から取り出します。
- ▶ ラベルプリンターに輸送による損傷が生じていないか点検します。
- ▶ プリンターを平坦な台に設置します。
- ▶ プリントヘッド領域にある発泡スチロール製の輸送保護材を取り除きます。
- ▶ 納品内容がすべて揃っていることを確認します。

納品内容:

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • プリンターユニット • USBケーブル • USBフラッシュドライブ • クイックガイド • 保証書 • カッター • パンドウイット ハイブリッド リボンのロール • 交換用フィルムコア | <ul style="list-style-type: none"> • 電源ケーブル 米国仕様 (DP4X00H) • 電源ケーブル 欧州仕様 (DP4X00H/E) • 電源ケーブル スイス仕様 (DP4X00H/E) • 電源ケーブル 中国仕様 (DP4X00H/E) • 電源ケーブル オーストラリア仕様 (DP4X00H/E) • 電源ケーブル 英国仕様 (DP4X00H/E) |
|---|--|

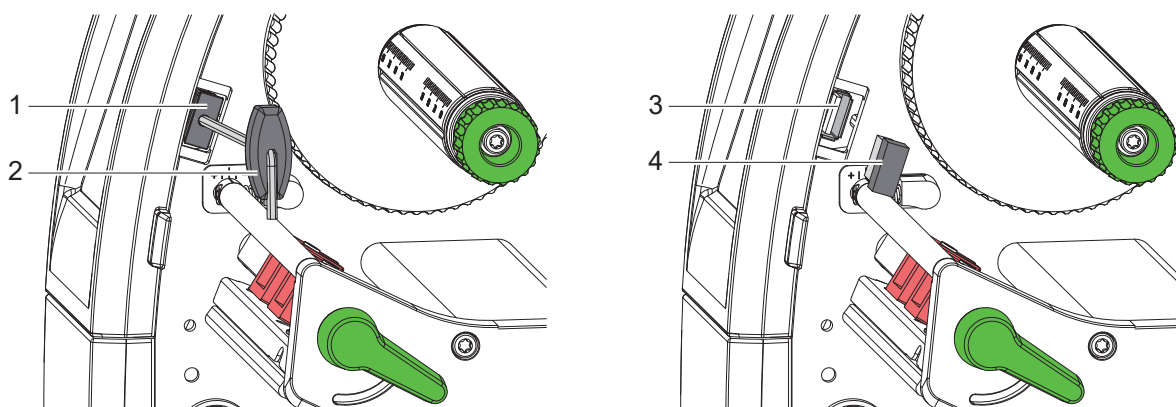


注記！
後に搬送に使用できるように、梱包箱は保管してください。



注意！
湿気および水分による機器および印刷材の損傷。
▶ ラベルプリンターは、乾燥した水滴などがからない場所に設置してください。

2.3 WLANスティックを挿入する - オプション



画像4 WLANスティックを挿入する

- ▶ カバー (1) を六角レンチ (2) を使用して取り除きます。
- ▶ WLANスティック (4) を操作パネルのUSBインターフェース (3) に差し込みます。

2.4 機器の接続

標準装備で装備されているインターフェースおよび接続端子は、画像3に表示されています。

2.4.1 電源に接続する

プリンターには、ワイドレンジ対応電源アダプターが装備されています。主電源電圧230 V～/50 Hz または115 V～/60 Hzで作動させる場合は、機器に変更を施さず使用することができます。

1. 機器のスイッチがオフになっていることを確認します。
2. 電源ケーブルを電源コネクタ (23) に差し込みます。
3. 電源ケーブルのプラグを接地されているソケットに差し込みます。

2.4.2 コンピューターまたはコンピューターネットワークに接続する



注意！

不適切な接地、または接地されていない場合、作動中に障害が生じる場合があります。
ラベルプリンターに接続されているすべてのコンピューターおよび接続ケーブルが接地されていることを確認してください。

- ▶ ラベルプリンターを適切なケーブルを使用して、コンピューターまたはネットワークに接続します。
各インターフェース構成についての詳細情報▷ 構成説明書。

2.5 機器のスイッチをオンにする

すべての接続が確立された後:

- ▶ プリンターを電源スイッチ (22) でオンにします。
プリンターでシステムテストが実行され、その後ディスプレイ(9)にシステムステータス「準備完了」が表示されます。

タッチスクリーンディスプレイを使用して、ユーザーは次のようにプリンターの操作を制御することができます：

- 印刷ジョブの中断、続行、キャンセル
- プリントヘッドの加熱、印刷速度、インターフェースの構成、言語、時刻など印刷パラメーターの設定 (▷ 構成説明書)、
- 記憶媒体によるスタンダアローンモードの制御 (▷ 構成説明書)、
- ファームウェアアップデートの実行 (▷ 構成説明書)。

多くの機能および設定は、ソフトウェアアプリケーションによるプリンター独自のコマンドまたはコンピューターで直接プログラミングすることで制御することができます。詳細情報▷ プログラミング説明書。

タッチスクリーンディスプレイで行われる設定は、ラベルプリンターの基本設定として適用されます。



注記！
さまざまな印刷ジョブの調整はソフトウェアで実施すると便利です。

3.1 スタート画面

			
スイッチをオンにした後	印刷中	一時停止状態	印刷ジョブ後

画像5 スタート画面

タッチスクリーンは、指で直接触れて操作します。

- メニューを開く、またはメニューオプションを選択するには、対応するアイコンに軽くタッチします。
- リストをスクロールするには、ディスプレイ上で指を上下に移動させます。

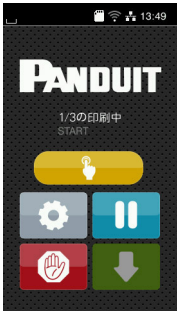
	メニューにジャンプ		最後のラベルを繰り返し印刷する
	印刷ジョブを中断する		短押し: 現在の印刷ジョブを削除する 長押し: すべての印刷ジョブを削除する
	印刷ジョブの続行		ラベル送り速度

表 1 スタート画面でのボタン



注記！
無効化されているボタンは暗く表示されます。

一部のソフトウェア設定またはハードウェア設定では、スタート画面に追加のアイコンが表示されます:

		
印刷ジョブなしでリクエストに応じて印刷する	印刷ジョブでリクエストに応じて印刷する	カッターを装備している場合のダイレクトカット

画像6 スタート画面でのオプションボタン

	印刷ジョブでの各ラベルのディスペンス、カットなどを含む印刷の開始。		材料搬送なしのダイレクトカットの実行。
---	-----------------------------------	---	---------------------

表 2 スタート画面でのオプションボタン

設定に応じて、ヘッダーにはウィジェット形式でさまざまな情報が表示されます:



画像7 ヘッダーのウィジェット













	インターフェース経由でのデータの受信は、落下する水滴アイコンで表示されます。
	機能「データストリームの記録」が有効▷構成説明書 受信したすべてのデータは .lbfファイルに保存されます。
	フィルム終了の事前警告▷構成説明書 フィルムストックロールの残り直径が設定された値を下回りました。
	SDカードが挿入されています。
	USBメモリーが挿入されています。
	WLAN接続が有効 白い扇型のアイコンはWLAN電波強度を示しています。
	イーサネット接続が有効。
	USB接続が有効。
	時刻。

表 3 スタート画面のウィジェット

3.2 メニュー内のナビゲーション

		
スタートレベル	選択レベル	パラメーター/機能レベル

画像8 メニューレベル

- ▶ メニューへジャンプするには、スタートレベルで  を押します。
- ▶ 選択レベルでテーマを選択します。
各テーマには、その他の選択レベルを含むサブストラクチャが備わっています。
 で上位のレベルへ戻り、 でスタートレベルへ戻ります。
- ▶ パラメーター/機能レベルに達するまで選択を続行します。
- ▶ 機能を選択します。場合によっては、プリンターはダイアログが準備された後に機能を実行します。
- または -
パラメーターを選択します。設定オプションはパラメーターのタイプによって異なります。

			
ロジックパラメーター	選択パラメーター	数値パラメーター	日付/時刻

画像9 パラメーター設定の例








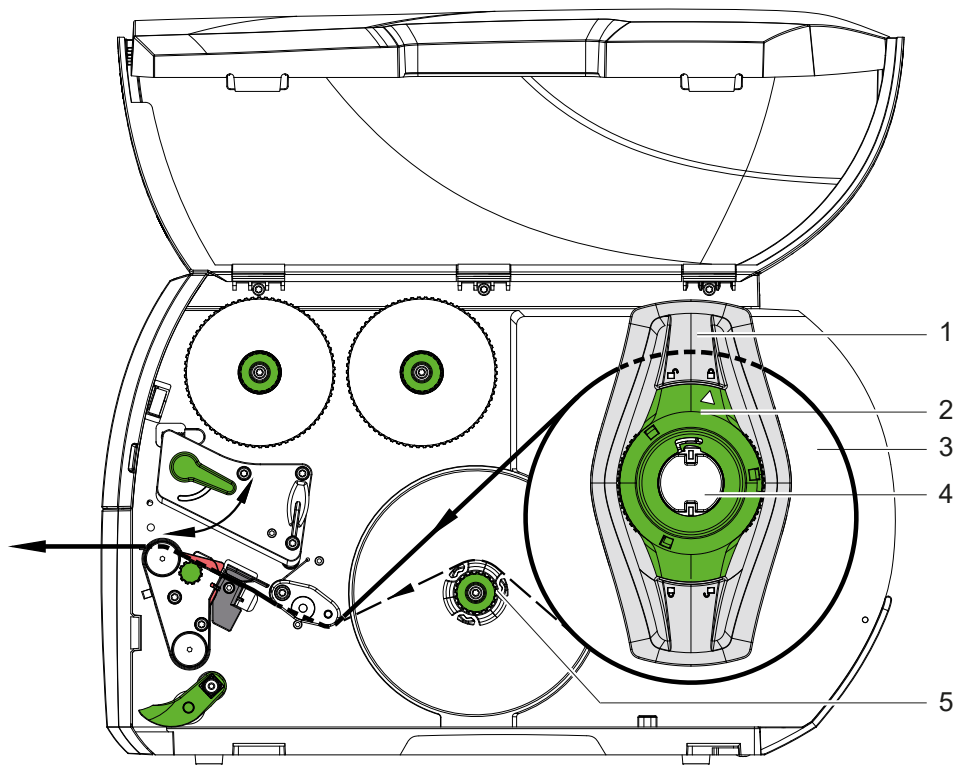
	値の大きな設定を行うためのスライドバー
	値を徐々に低減する
	値を徐々に上昇する
	設定を保存せずに終了する
	設定を保存して終了する
	パラメーターは無効になっており、ボタンを押すとパラメーターが有効になります
	パラメーターは有効になっており、ボタンを押すとパラメーターが無効になります



表 4 機能ボタン

**注記！**

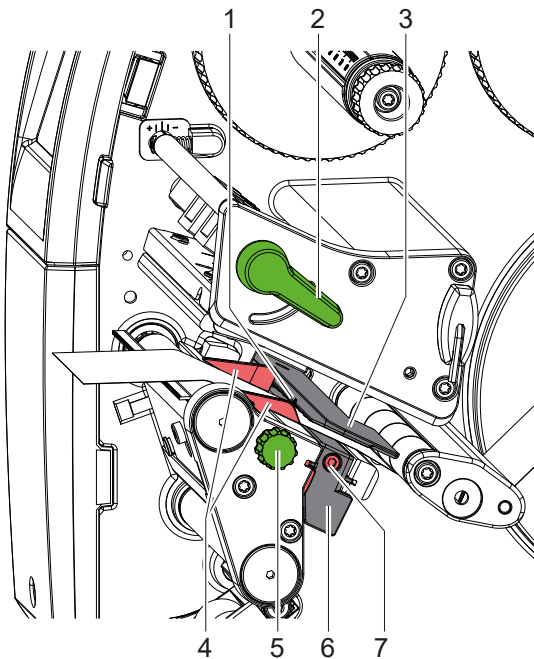
設定および取付を簡単に行うため、印刷ユニットの上部に付けられている同梱されている六角レンチを使用してください。ここに記載されている作業にその他の工具は不要です。

4.1 ロール材料を挿入する**4.1.1 材料ロールをロールホルダーに位置決めする**

画像10 ロール材料を挿入する

1. カバーを開きます。
2. 調整リング (2) を反時計回りに回し、矢印がの記号を指すようにします。
3. マージンストップ (1) をロールホルダーから (4) 抜きます。
4. 材料ロール (3) は、材料の印刷する側の面が上方を向くようにロールホルダー (4) に押し込みます。
5. マージンストップ (1) をロールホルダー (4) にはめ込み、両方のマージンストップが材料ロール (3) に密着し、押し込んだ際にはっきりと抵抗が感じられるまで押し込みます。
6. 調整リング (2) を時計回りに回し、矢印がの記号を指すようにします。

4.1.2 プリントヘッドにラベルを挿入する



画像11 プリントヘッドにラベルを挿入する

1. レバー (2) を反時計回りに回して、プリントヘッドを持ち上げます。
2. 刻み付きノブ (5) を使用して、両方のマージンストップ間に材料が合うようにマージンストップ (4) を調整します。
3. ラベルストリップを内部巻取り機の上方で印刷ユニットまで通します。
4. ラベルストリップは、プリントヘッドとプリントローラーの間で印刷ユニットから離れるようにラベルエッジセンサー (3) に通します。
5. 刻み付きノブ (5) を使用して、材料が詰まることなく通るようにマージンストップ (4) を位置決めします。

4.1.3 ラベルエッジセンサーを調整する

ラベルエッジセンサーは、ラベル材料に調整するため用紙フィード方向に対して水平に移動させることができます。ラベルエッジセンサーのセンサー (1) は、印刷ユニットを覗いた場合に前方から見え、エッジセンサーホルダーにマークが付けられています。プリンターのスイッチがオンになっていると、センサーポジションには黄色のLEDが点灯しています。

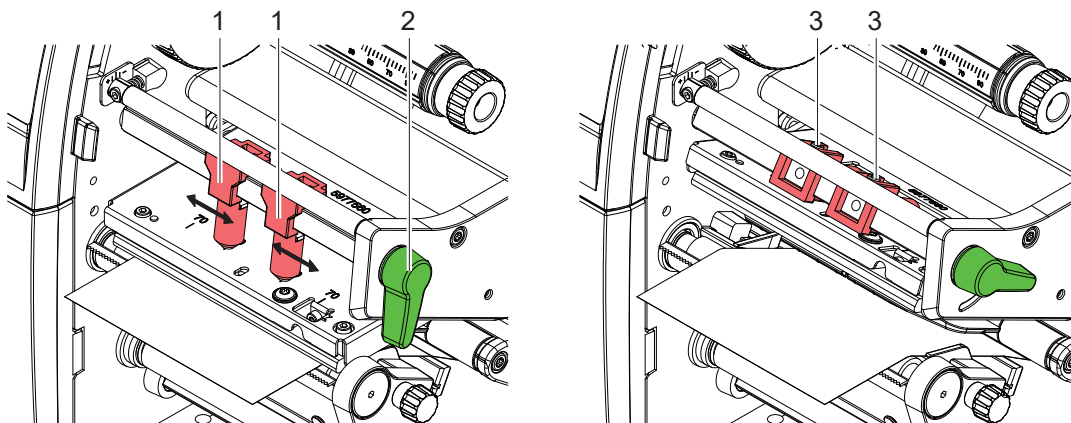
- ▶ ねじ (7) を緩めます。
- ▶ ラベルエッジセンサーをグリップ (6) を使用して、センサー (1) がラベルギャップ、またはパンチ穴マークが検出できるように位置決めします。
- ▶ ねじ (7) を締め付けます。

切取りモードでの作動の場合のみ:

- ▶ レバー (2) を時計回りに回して、プリントヘッドをロックします。
ラベルが切取りモード用に挿入されます。

4.2 ヘッド加圧システムを調整する

プリントヘッドは、基本設定ではヘッド角度の中央に位置決めされている2本のプランジャー (1) で押し付けられます。この設定は、ほとんどの用途で保持することができます。



画像12 ヘッド加圧システムを調整する

非常に幅の広い材料を使用した際に、印刷画像の側面枠領域が異常に明るくなる場合は、プランジャーを調整することができます：

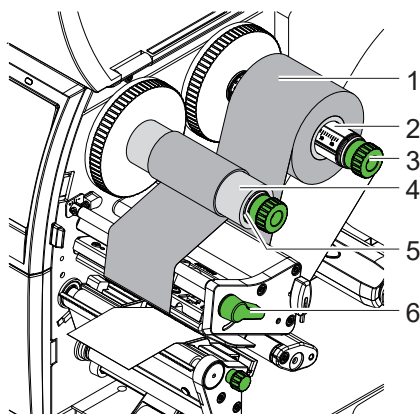
- ▶ 両側のプランジャー (1) 内のグラブねじ (3) を六角レンチを使用して緩めます。
- ▶ レバー (2) を時計回りに回して、プリントヘッドをロックします。
- ▶ プランジャーを目盛値70にスライドします。
- ▶ グラブねじ (3) を締め付けます。

4.3 転写フィルムを挿入する

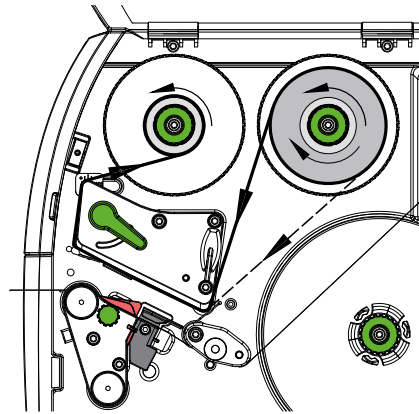


注記！

直接熱転写印刷を行う場合は、転写フィルムは挿入しないでください。必要に応じて既に挿入されている転写フィルムは取り除いてください。



画像13 転写フィルムを挿入する



画像14 転写フィルムフィード

1. 転写フィルムを挿入する前にプリントヘッドを清掃してください (▷ 6.2 ページ 19)。
2. レバー (6) を反時計回りに回して、プリントヘッドを持ち上げます。
3. 転写フィルムロール (1) は、巻き出す際にフィルムのカラーコーティングが下方を向くように巻出し機 (2) に押し込みます。
4. ロール (1) は、ロールの両端が同じ目盛値になるように巻出し機に位置決めします。
5. フィルムロール (1) を保持し、フィルムロールが固定されるまでプリントヘッドを巻出し機 (3) で反時計回りに回します。
6. 適したフィルム芯 (4) をフィルム巻取り機 (5) に押し込み、同様に固定します。
7. フィルムを画像14に示されたとおり、印刷ユニットに通します。
8. フィルム開始部分を接着テープでフィルム芯 (4) に固定します。この際、巻取り機の回転方向が反時計回りになっていることに注意します。
9. フィルムフィードをスムーズにするには、巻取り機 (5) を反時計回りに回します。
10. レバー (6) を時計回りに回して、プリントヘッドをロックします。

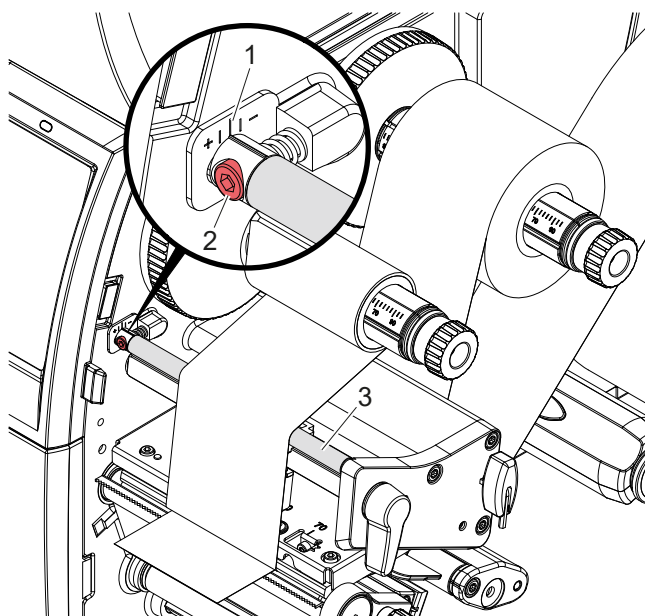
4.4 転写フィルムフィードを調整する

フィルムフィードでしわが生じると、印刷イメージエラーを招く場合があります。しわの生成を回避するため、フィルムデフレクター (3) を調整することができます。



注記！

ヘッド加圧システムの不適切な設定により、フィルムフィードでしわを招く場合があります (▷ 4.2 ページ 15)。



画像15 転写フィルムフィードを調整する



注記！

調整は印刷プロセス中に最適に行うことができます。

- ▶ 現在の設定を目盛 (1) で読み取り、必要に応じてメモします。
- ▶ ねじ (2) を六角レンチで回し、フィルムの状態を観察します。
+方向に回すと、フィルムの内側エッジが張られ、-方向に回すと外側エッジが張られます。

**注意！**


不適切な取扱いによるプリントヘッドの損傷！

- ▶ プリントヘッドの下部が指や先の尖ったものと触れないようにしてください。
- ▶ ラベルに汚れがないことを確認してください。
- ▶ ラベル表面が滑らかであることに注意します。ラベル表面が荒れていると、プリントヘッドの寿命が短くなる可能性があります。
- ▶ 可能な限り低いプリントヘッド温度で印刷してください。

接続が確立され、ラベルまたは場合によりフィルムが挿入されるとプリンターは作動準備が完了しています。

5.1 用紙フィードの同期

ラベル材料を挿入した後、ディスペンスモードまたはカッティングモードでは用紙フィードの同期化を行う必要があります。この際、ラベルセンサーで検知された最初のラベルが印刷位置に配置され、その前にあるすべてのラベルがプリンターから搬送されます。これにより、ディスペンスモードで空白のラベルが最初に印刷されたラベルと一緒にディスペンスされることを防ぎ、またカッティングモードで最初のセクションの切断長さのエラーが生じないようにします。このような作用が生じると、最初のラベルが使用できなくなります。

- ▶ を押して、同期化を開始します。
- ▶ フィードの際にディスペンスおよび切断された空白のラベルを取り除きます。

**注記！**

プリンターのスイッチがオフにされた場合でも、さまざまな印刷ジョブでプリントヘッドが開かれなかった場合、同期化プロセスを実行する必要はありません。

5.2 切り取り

印刷後、材料テープは手で切り取ります。このためにプリンターには、切り取りエッジが装備されています。

5.3 カットおよびパンチング

- * DP4300HとDP4600Hには、切断ナイフと穿孔ナイフがのアクセサリとして用意されています。ナイフを取り付けることで、ラベルおよびエンドレス材料を印刷後に自動的にカットまたは穴あけすることが可能になります。ナイフの詳細を記載した専用の説明書があります。

6.1 清掃に関する注記

**危険！**

感電による生命の危険！

▶ メンテナンス作業を行う前に必ずプリンターの電源を切断してください。

**注意！**

腐食性のあるクリーニング剤によるプリンターの損傷！

機器の表面や部品の清掃に研磨剤または溶剤を使用しないでください。

推奨クリーニングセット PTR-CLN

6.2 プリントヘッドを清掃する

清掃間隔： 直接熱転写印刷 - ラベルロールを交換するごとに実施
熱転写印刷 - 転写フィルムのロールを交換するごとに実施

印刷中にプリントヘッドにコントラスト誤差や縦縞などによる印刷画像に悪影響を与える汚れが蓄積することがあります。

**注意！**

プリントヘッドの損傷！

プリントヘッドの清掃には、先が尖ったものや固いものを使用しないでください。

プリントヘッドのガラス保護層に触れないでください。

**注意！**

高温になったプリントヘッド列による火傷の危険。

清掃前にプリントヘッドが冷えていることに注意してください。

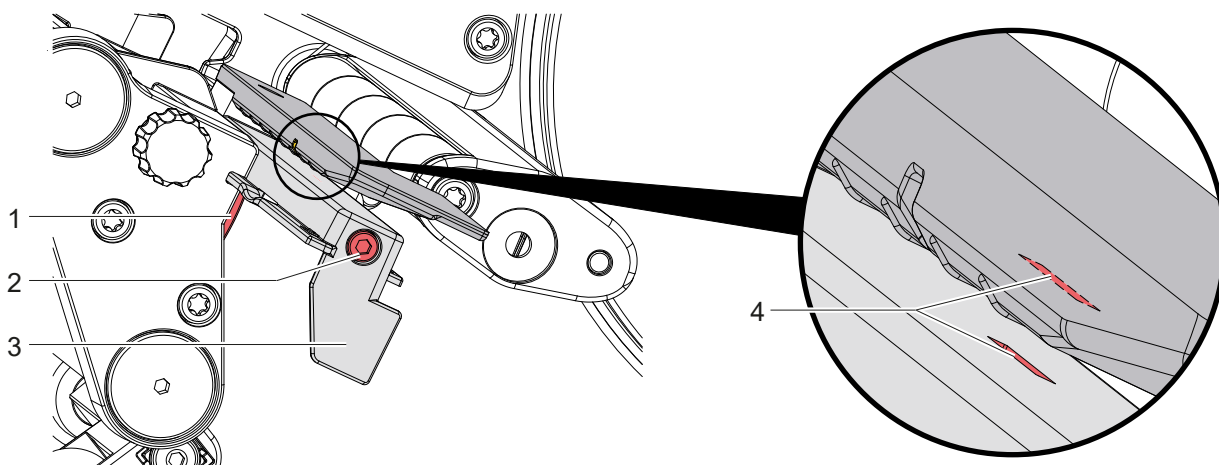
- ▶ プリントヘッドを上方へ移動させます。
- ▶ ラベルおよび転写フィルムをプリンターから取出します。
- ▶ Panduit クリーニング キット (PTR-CLN) のコンポーネントを使用して、プリントヘッドの表面を清掃します。
- ▶ プリントヘッドを2～3分間乾燥させます。

6.3 ラベルエッジセンサーを清掃する

**注意！****エッジセンサーの損傷！**

エッジセンサーの清掃には、先が尖ったものや固いものを使用しないでください。

ラベルセンサーは紙粉で汚れる場合があります。汚れにより、ラベル開始位置検出またはプリントマーク検出に障害が生じる場合があります。



画像16 ラベルエッジセンサーを清掃する

1. ラベルおよび転写フィルムをプリンターから取出します。
2. ねじ (2) を緩めます。
3. ボタン (1) を押し、ラベルエッジセンサーをハンドル (3) でゆっくりと外側へ引きます。エッジセンサーケーブルが引っ張られないように注意します。
4. 電子機器クリーニング用綿棒またはPanduitクリーニング セット (PTR-CLN) のクリーニング クロスで、ラベルエッジセンサーとセンサー スロット (4) を掃除します。
5. ラベルエッジセンサーをハンドル (3) で押し戻し、調整します (▷ 4.1.3 ページ 14)。
6. ラベルと転写フィルムを再び挿入します。

7.1 エラー表示

エラーが生じた場合、ディスプレイにはエラーが表示されます：



画像17 エラー表示

トラブルシューティングはエラーの種類によって異なります▷ 7.2 ページ 21。

操作を続行するため、エラー表示には以下のオプションが適用されます：

繰り返す	エラー原因を取り除いた後、印刷ジョブが続行されます。
キャンセル	現在の印刷ジョブがキャンセルされます。
フィード	ラベル搬送が再度同期化されます。その後、ジョブを繰り返して続行することができます。
無視	エラーメッセージが無視され、場合によっては印刷ジョブが制限された機能で続行されます。
ログを保存	エラーによって印刷プロセスが実行できません。 詳しく分析するため、外部メモリーにさまざまなシステムファイルを保存することができます。

表 5 エラー表示でのボタン

7.2 エラーメッセージとトラブルシューティング

エラーメッセージ	原因	対策
カッターがブロックされています	カッターが不明な状態で材料に留まっています。	プリンターのスイッチをオフにします。詰まった材料を取り除きます。プリンターのスイッチをオンにします。 印刷ジョブを再開します。 材料を交換します。
	カッターが機能しません。	プリンターのスイッチをオフにし、再びオンにします。 再度このエラーが生じた場合は、サービススタッフにご連絡ください。
カッターでつまりが発生しています	カッターが材料を切断できませんが、初期位置に戻ることができます。	キャンセルを押します。 材料を交換します。
デバイスが接続されていません	既存の機器でプログラミングが反応しません。	代替機器を接続するか、プログラミングを修正します。
バーコードが大きすぎます	バーコードがラベルに割り当てられた領域には大きすぎます。	バーコードを縮小するか、移動させます。
バーコードエラー	無効なバーコードコンテンツ、例えば数値バーコードにアルファベット文字が含まれているなど。	バーコードコンテンツを修正します。
バッファのオーバーフロー	データ入力バッファがいっぱいで、コンピューターがさらにデータを送信しようとしています。	プロトコルによるデータ転送を使用します (RTS/CTS推奨)。
ピンチローラーが開いています	ディスペンスモードで偏向ローラーの加圧システムが開いていません。	加圧システムを閉じます。
ファイルが見つかりませんでした	記憶媒体で存在しないファイルの呼出しが行われました。	記憶媒体の内容を点検してください。
フォントが見つかりません	選択されたダウンロードフォントでのエラー。	印刷ジョブを中断し、フォントを切り替えます。

エラーメッセージ	原因	対策
プリントヘッドが開いています	プリントヘッドがロックされていません。	プリントヘッドをロックしてください。
プリントヘッドが熱すぎます	プリントヘッドの異常な加熱。	一時停止した後、印刷ジョブが自動的に続行されます。 再度発生した場合は、ヒーターレベルをソフトウェアで低減してください。
メモリのオーバーフロー	印刷ジョブが大きすぎます: 例えば取り込まれたフォント、容量の大きい画像など。	印刷ジョブを中断します。 印刷するデータの容量を低減します。
ラベルが見つかりませんでした	ラベルストリップ上で複数のラベルが不足しています。	ストリップ上で次のラベルが検出されるまで繰り返しを押しします。
	ソフトウェアで指定されたラベル形式が実際の形式と一致しません。	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアでラベル形式を変更します。 印刷ジョブを再開します。
	プリンターに連続テープが挿入されていますが、ソフトウェアはラベルに設定されています。	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアでラベル形式を変更します。 印刷ジョブを再開します。
ラベルサイズがありません	ラベルサイズがプログラミングで定義されていません。	プログラミングを点検します。
リボンが空です	転写フィルムがすべて使用されました。	新しい転写フィルムを挿入してください。
	印刷時に転写フィルムが溶解しました。	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアからヒーターレベルを変更します。 プリントヘッドを清掃する▷6.2 ページ 19 転写フィルムを挿入します。 印刷ジョブを再開します。
	サーマルラベルを処理する必要がありますが、ソフトウェアでは熱転写印刷に切り替えられています。	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアで熱転写印刷に切り替えます。 印刷ジョブを再開します。
リボンのインク面	検知されたフィルムの巻き戻し方向が構成設定と異なります。	フィルムが逆方向に挿入されています。 プリントヘッドを清掃します ▷6.2 ページ 19。 フィルムを正しく挿入します。 構成設定が使用するフィルムに適していません。 構成設定を調整します。
リボンを取り外してください	直接熱転写印刷に設定されているにもかかわらず、転写フィルムが挿入されています。	直接熱転写印刷を行うため、転写フィルムを取り除きます。 熱転写印刷を行うため、プリンター設定またはソフトウェアで転写印刷をオンにします。
構文エラー	プリンターがコンピューターから不明なまたは誤ったコマンドを受信しました。	エラーをスキップするには無視を押し、印刷ジョブをキャンセルするにはキャンセルを押しします。
書き込みエラー	ハードウェアエラー。	書き込みプロセスを繰り返し実行します。 記憶媒体を再フォーマットします。
電圧エラー	ハードウェアエラー。	プリンターのスイッチをオフにし、再びオンにします。 再度このエラーが生じた場合は、サービススタッフにご連絡ください。 どの電圧が機能停止したか表示されます。これらをメモしてください。
読み取りエラー	記憶媒体へのアクセスの際の読み取りエラー。	記憶媒体上のデータを点検します。 データを保存します。 記憶媒体を再フォーマットします。
不明なカード	記憶媒体がフォーマットされていません 記憶媒体タイプがサポートされていません。	記憶媒体をフォーマットする、または別の記憶媒体を使用します。
名前が存在します	ダイレクトプログラミングでフィールド名が重複しています。	プログラミングを修正してください。
用紙が空です	印刷する材料がなくなりました。	材料を挿入します
	用紙フィードでエラーが生じました。	用紙フィードを点検します。

表 6 エラーメッセージとトラブルシューティング

7.3 問題解決法

問題	原因	対策
転写フィルムがねじれている。	転写フィルムデフレクターが調整されていません。	転写フィルムフィードを調整する ▷ 4.4 ページ 17。
	ヘッド加圧システムが調整されていません。	ヘッド加圧システムを調整する ▷ 4.2 ページ 15。
	転写フィルムの幅が大きすぎる。	ラベルよりも僅かに幅の狭い転写フィルムを使用します。
印刷画像にずれまたは空白部分があります。	プリントヘッドが汚れています。	プリントヘッドを清掃する ▷ 6.2 ページ 19。
	温度が高すぎる。	ソフトウェアから温度を低減します。
	ラベルと転写フィルムの不適切な組合せ。	別のフィルム種類または他社製のフィルムを使用します。
転写フィルムが終了したにもかかわらず、プリンターが停止しない。	ソフトウェアで熱印刷が選択されています。	ソフトウェアで熱転写印刷に切り替えます。
プリンターがラベル形式ではなく、文字列を印刷する。	プリンターがモニターモードになっています。	モニターモードを終了します。
プリンターがラベル材料を搬送し、転写フィルムを搬送しない。	転写フィルムが正しく挿入されていません。	転写フィルムフィードおよびコーティング面の配置を点検し、必要に応じて修正します。
	ラベルと転写フィルムの不適切な組合せ。	別のフィルム種類または他社製のフィルムを使用します。
プリンターはラベルを1つおきに印刷します。	ソフトウェアでのフォーマット設定が大きすぎます。	ソフトウェアでフォーマット設定を変更します。
印刷画像に白色の縦線が生じる。	プリントヘッドが汚れています。	プリントヘッドを清掃します。 ▷ 6.2 ページ 19。
	プリントヘッドの故障 (加熱点の機能停止)。	プリントヘッドを交換します。 ▷ サービス説明書
印刷画像に白色の横線が生じる。	プリンターは、設定 バックフィード > スマートでカッティングモードまたはディスプレイスモードで作動しています。	セットアップをバックフィード > 常時に切り替えます。 ▷ 構成設定。
印刷画像が片側のみ明るく印刷される。	プリントヘッドが汚れています。	プリントヘッドを清掃します。 ▷ 6.2 ページ 19。
	ヘッド加圧システムが調整されていません。	ヘッド加圧システムを調整します。 ▷ 4.2 ページ 15。

表 7 問題解決法

EU適合宣言およびその他の承認に関する注意事項：

<https://www.panduit.com/DP4X00H>



FCC

NOTE : This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. The equipment generates, uses, and can radiate radio frequency and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user may be required to correct the interference at his own expense.

9 索引

USBスレーブインターフェース.....7	ら
WLANスティック.....8	ラベルエッジセンサー
主電源電圧.....9	清掃.....20
切り取る.....9	調整する.....14
切り取りモード.....14, 18	ラベルを挿入する.....13
周辺環境.....5	り
問題解決法.....23	リチウムバッテリー.....5
安全に関する注意事項.....5	ろ
機器の概要.....6	ロール材料を挿入する.....13
清掃	
プリントヘッド.....19	
ラベルエッジセンサー.....20	
清掃に関する注記.....19	
環境保護に配慮した廃棄.....5	
用紙フィードの同期化.....18	
納品内容.....8	
設置.....8	
警告ラベル.....5	
転写フィルムフィードを調整する...17	
転写フィルムを挿入する.....16	
適切な使用.....4	
重要な情報.....4	
開梱する.....8	
電源供給.....5	
え	
エラー	
メッセージ.....21	
対策.....21	
種類.....21	
か	
カッティングモード.....18	
さ	
サービス作業.....5	
す	
スイッチをオンにする.....9	
そ	
その他の作業.....5	
ふ	
プリントヘッド	
損傷.....18	
清掃.....19	
へ	
ヘッド加圧システムを調整する.....15	